

試験研究（事後）評価整理表

試験研究機関名 林業研究センター

所 管 グ ル ー プ 研究開発グループ

整理番号	施策目標等		試験・研究課題名	研究目的	研究概要	試験研究始期・終期		評価結果	理由	外部評価アドバイザー意見
	施策目標	研究課題分類				始期	終期			
1	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	循環型社会を形成するための木質資源等の利用技術開発	木質バイオマス循環利用モデルの開発	<ul style="list-style-type: none"> 木質バイオマス賦存量の把握に基づいた循環利用のための資源供給モデルの検討。 林内マルチングによる雑草抑制効果と植栽木の成長への影響の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内の木質バイオマスの賦存量と供給量を把握した。木質バイオマスの集積、搬出等コストを把握した。循環利用モデルの開発を行った。 木質チップによる林内マルチング技術の開発を行った。 	H15	H18	B	地域は限定されるが、木質バイオマス資源供給モデルが開発され、林内マルチングの効果も明らかとなり、目的は概ね達成した。	木質バイオマスの利用においては、地域をターゲットにしたローカルな社会を想定した効率的な取り組みが不可欠である。研究成果をもとにモデル地区を設定した取り組みを期待したい。
2	21世紀の豊かな森林、活力ある林業・木材産業づくり	循環型社会を形成するための木質資源等の利用技術開発	支柱、杭木等の防腐処理技術の開発	安価で耐久性の高い木製支柱を開発し、土木事業における木材利用の推進と、県産間伐材の需要拡大を図る。	地際部を中心として部分的により防腐性能を向上させるための防腐処理手法を検討した。また、木製支柱製品の試作と耐久性の評価を行った。	H16	H18	C	木材支柱への薬剤注入量を増加させる手法が開発され、一定の耐久性能が向上したと考えられる。	強度を落とさずに必要部分に薬液を注する手法を開発しているが、耐久性の評価について加速試験を実施して評価する必要がある。